

令和4年度 全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会 実施概要

目 的

平成8年に長野・新潟県境の蒲原沢で発生した土石流災害では砂防工事中の作業員が犠牲となった。この災害を踏まえ施工条件が厳しい砂防工事における安全対策について、行政と民間との共同で研究や対策に取り組んでいるところであり、これらの取り組みの成果を当研究発表会で広く共有し、技術の研鑽を図るものである。

1. 主 催：全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会実行委員会
2. 開催期間：令和4年6月3日（金） 14：00～17：00
オンデマンド配信 令和4年6月20日（月）～令和4年8月22日（月）
3. 場 所：九段第3合同庁舎 11階共用会議室（東京都千代田区九段南一丁目2番1号）
4. 開催方法：対面式（安全施工管理技術研究論文、有益な取組事例賞受賞者等関係者のみ出席）
※聴講申込者に対して Web 上の限定公開ページで聴講用動画を配信。
5. 聴 講 者：砂防関係工事の安全施工技術の研鑽に賛同する者
＜一般、業界新聞社、国土交通省（本省、各地方整備局等及び砂防関係事務所）、
国土技術政策総合研究所、土木研究所、都道府県、砂防関係法人、
建設コンサルタント関係、施工業者等＞
6. 発表会次第
 - 挨拶（実行委員長）
 - 実行委員並びに論文選考委員の紹介
 - 論文選考委員長コメント
 - 砂防図書館へ論文寄贈
 - 安全施工管理技術研究論文発表（6編【直轄】）
 - 安全施工管理技術研究論文発表（2編【都道府県】）
 - 有益な取組事例賞の紹介
 - 今年度研究発表会の総括（国土交通省 砂防部長）
7. 実行委員及び論文選考委員

実行委員会	論文選考委員会	氏名	役職
—	委員長	小山内 信智	政策研究大学院大学 教授・博士（農学）
委員長	委員	吉野 睦	水管理・国土保全局砂防部保全課土砂災害対策室長
副委員長（監事）	委員	大坂 剛	関東地方整備局利根川水系砂防事務所長
委員	委員	林 孝標	長野県建設部砂防課長
委員	委員	柿元 瞬	日刊建設通信新聞社 編集局記者
委員	—	大池 太士	砂防施工管理研究会 代表
委員	委員	酒谷 幸彦	砂防施工管理研究会 事務局長（R4.4.11以前）
		山本 悟	砂防施工管理研究会 事務局長（R4.4.11以降）

運営事務局：国土交通省砂防部保全課、関東地方整備局河川部河川工事課、
砂防施工管理研究会、砂防関係コンサルタント懇話会

令和4年度_砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会 優秀(発表)論文 及び 有益な取組事例 選考結果

■優秀(発表)論文：技術者(個人)を表彰

No.		地方整備局等 都道府県名	事務所名等	左記機関の代表	論 文 名	会社名	発表者 役職・氏名
1	優秀論文	関東地方整備局	日光砂防事務所	日光砂防事務所長	R2田茂沢崩壊地対策工事における安全対策について	中村土建(株)	現場代理人 塩生 和也
2	優秀論文	中部地方整備局	富士砂防事務所	富士砂防事務所長	令和3年度逢初川水系応急対策工事における安全対策について	大成建設(株)	現場代理人 丸山 高志
3	優秀論文	近畿地方整備局	紀伊山系砂防事務所	紀伊山系砂防事務所長	赤谷3号砂防堰堤工事における自動化施工の活用実績について	鹿島建設(株)	監理技術者 松本 健太郎
4	優秀論文	近畿地方整備局	紀伊山系砂防事務所	紀伊山系砂防事務所長	冷水斜面对策他工事における安全対策について	松塚建設(株)	現場代理人 今西 裕昭
5	優秀論文	近畿地方整備局	六甲砂防事務所	六甲砂防事務所長	住宅地に接する急峻な斜面对策工事の安全対策について	ライト工業(株)	現場代理人 三浦 克
6	優秀論文	中国地方整備局	広島西部山系砂防事務所	広島西部山系砂防事務所長	砂防工事における高速データ通信を活用した取り組みについて	宮川興業(株)	監理技術者 宮地 琢哉
7	優秀論文	神奈川県	県西土木事務所 小田原土木センター	県西土木事務所 小田原土木センター所長	R1早川災害復旧工事における安全対策について	三和建設(株)	監理技術者 鍵山 恭平
8	優秀論文	新潟県	新潟地域振興局 津川地区振興事務所	津川地区振興事務所長	下ノ沢川砂防堰堤工事における安全対策について	西興産(株)	監理技術者 五十嵐 一恭

■有益な取組事例：会社(企業)を表彰

No.		地方整備局・ 都道府県等	事務所名等	事務所名等	概 要	会社名	担当者 役職・氏名
1	有益な取組	新潟県	新潟地域振興局 津川地区振興事務所	津川地区振興事務所長	【キーワード;担い手確保、広報、省力化】 担い手確保の必要性、特に若年入職者の確保や育成が喫緊の課題である現状において、作業の省力化や電子化を行い、さらに建設業のイメージが変わるように現場の情報を積極的に発信して、砂防工事の広報活動に努めた。 ①現場事務所にカードリーダーを設置し、建レコアプリによる技能者就業履歴の登録やExcelの就業履歴データを活用し、現場稼働日や労務者の集計を容易にした。 ②就活生を対象に、会社HPにて現場の様子や地すべり対策工事についての情報発信を行った。その成果として、過去の記事を読み、新たに社員が入社した。 ③Googleフォーム活用による安全巡視点検簿の電子化を行った。本工事では防水スマホを使用することで、雨風の影響を受けることが無かった。さらに、紙資源の削減に結びつけた。	(株)興和	現場代理人 駒形 春佳